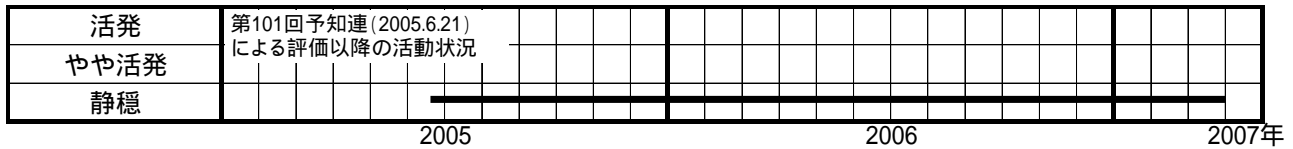


秋田駒ヶ岳

火山活動評価：静穏な状況

火山性地震は一時やや増加した日がありましたが、地震活動は低調な状態で火山活動は静穏に経過しています。



概況

・地震や微動の発生状況（図2～3）

体に感じない振幅の小さな火山性地震が22日に19回と一時やや増加しましたが、その後は少ない状況が続いています。地震増加の前後で、東北大学の傾斜計、歪計などの地殻変動等の観測結果や、東北地方整備局の監視カメラの映像には特段の変化は見られませんでした。

なお、今回の火山性地震の震源は、2003年6月に地震回数がやや増加した時と同じ山頂北側の浅いところでした。

火山性微動は観測されませんでした。

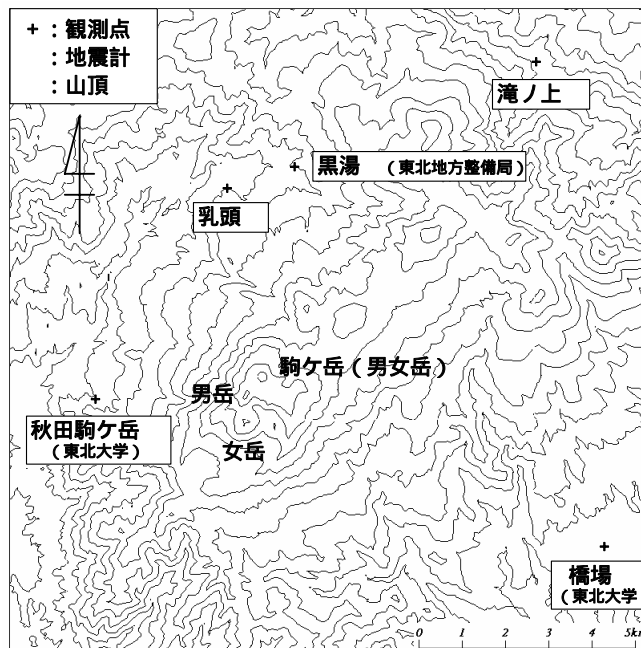


図1 秋田駒ヶ岳 観測点配置図

資料は気象庁のデータその他、国土交通省東北地方整備局、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ (標高)」を使用しています。(承認番号 平 17 総使、第 503 号)

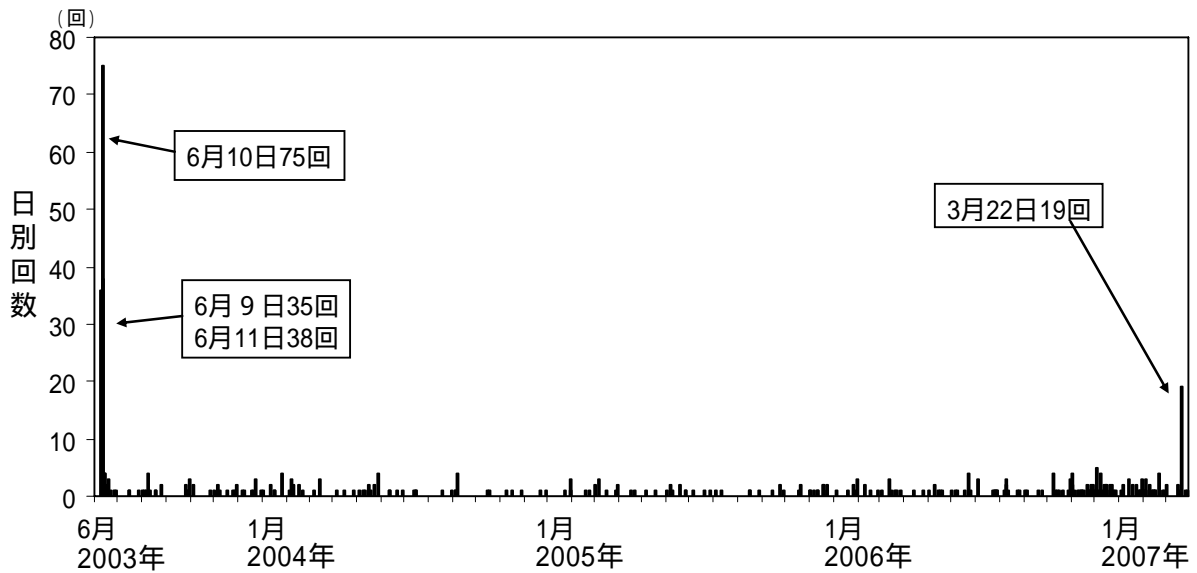


図2 秋田駒ヶ岳 日別地震回数（2003年6月9日～2007年3月）

2003年6月9日～7月31日、2004年5月1日～5月31日、8月11日以降は、秋田駒ヶ岳（東北大）の地震計による
 2003年8月1日～2004年4月30日、2004年6月1日～8月11日の期間は水沢の地震計（気象庁：2004年9月観測終了）による

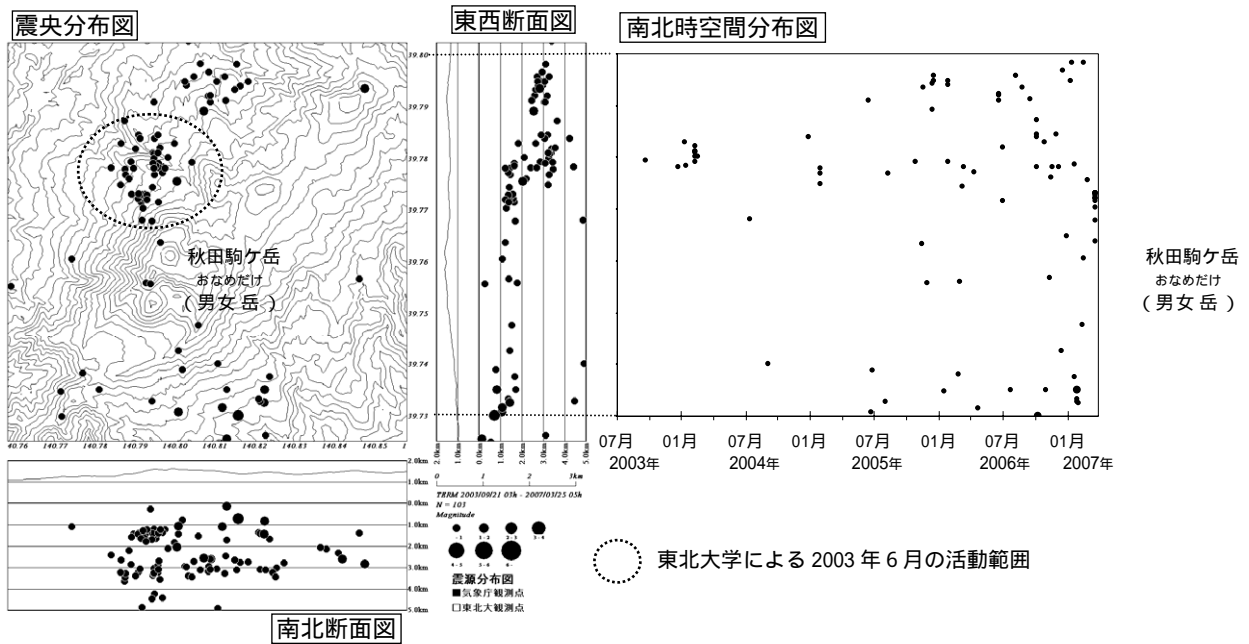


図3 秋田駒ヶ岳付近の地震活動（2003年8月～2007年3月）